

平成27年度 第1回 富田林市総合計画フォローアップ会議 会議録概要

◆日 時：平成28年1月20日（水）（13：30～16：30）

◆場 所：富田林市役所 5階 介護認定審査会室

◆出席者：吉川委員（座長）、大西委員、湯口委員

欠席者：前川委員

事務局：中谷、塚本、阪口

発言者	発言概要
事務局	<p>■はじめに</p> <p>■フォローアップ会議設置要綱により、会議の役割と組織の概要について説明。</p> <p>■委員紹介 吉川委員、大西委員、前川委員（欠席）、湯口委員</p> <p>■事務局紹介 中谷、塚本、阪口</p> <p>■座長・職務代理の選出 要綱第4条の規定により互選により座長を選出願う。 ⇒吉川委員を座長に選出。 座長の指名により、職務代理に前川委員を選出。</p> <p>～座長による議事進行～</p>
座長	<p>■会議の公開について （事務局より「フォローアップ会議設置要綱」及び「会議の公開に関する指針」について説明後） ⇒「公開」とすることに決定。</p>
座長	<p>■会議の傍聴人数について （事務局より案の説明後） ⇒会議の規模を勘案し、5名程度とすることを決定。</p>
座長	<p>■議事録の取扱いについて （事務局より案の説明後） ⇒ ・議事録の作成は事務局で行う。 ・議事録は委員の発言内容の要約筆記としてまとめ、次の会議までに郵送にて送付する。 ・発言者氏名はそのまま記載するのではなく、「座長」、「委員」、「事務局」という職名で表記する。 ・議事録は公開することを決定。</p>

座長	<p>■会議のルールについて (事務局から案の説明後)</p> <p>⇒・1回の会議は、最大3時間とし、会議運営が円滑になるように努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言は座長の許可を必要とする。 ・資料配布は座長の許可を必要とする。 ・事務局からの資料は、事前に配布する。 ・会議の冒頭で、前回「会議録」の確認と承認を行う。 ・評決事項は座長を除く委員の多数決による。ただし、賛否同数の場合には座長が決すること。
座長	<p>■会議の開催日程と回数について (事務局から案の説明後)</p> <p>⇒本日の第1回会議を含め、2月12日(金)に第2回、2月22日(月)に第3回、3月中に最終のまとめと市長への報告会を兼ねた第4回の、計4回を開催することを決定。</p>
座長	<p>■会議の進め方について</p> <p>会議の進め方について、事務局から提案をお願いします。</p>
事務局	<p>今年度の会議の進め方については、次の2つの柱で進めていただきたいと思います。1点目は、評価の継続性という観点から、これまでのフォローアップ会議で積み上げてきた資料の点検を継続して行うこと。2点目は、一昨年度のフォローアップ会議からの提案を受け、昨年度実施したフォローアップ会議委員と担当課との意見交換を引き続き実施することを提案したい。</p> <p>昨年度の意見交換会では、基本計画第1章を代表する課として市民協働課、第2章第3節を代表する課としてこども未来室、第2章第5節を代表する課として下水道課、第2章第7節を代表する課として商工観光課と意見交換を実施していただいたので、今年度は基本計画各章・各節からバランスよく意見交換を実施する観点から、基本計画第2章第1節・第2節・第4節・第6節から各々1課ずつ選定していただければと考えている。</p> <p>また、本日欠席の委員からご意見をいただいているので、紹介させていただきたいが、どうか。</p>
座長	<p>お願いします。</p>
事務局	<p>■欠席委員の意見について</p> <p>・これまで5回のフォローアップ会議と1回の検証会議を行ってきた。今回は今までの会議で何を評価し、どのような理解が深まったかを整理し、報告してはどうか。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業評価表について、担当課での自己評価に加え、他者評価導入の検討を提案してはどうか。これにより、3つのしくみづくりなど評価についても、もう一歩進んだ評価ができると考える。前回の会議であったように、あらゆる事業は市民のためにあるので、いつも職員のそばには市民がいて、意見を聞くこともできるし、議論することもできるというような態度や課題のとらえ方を提案したい。 ・地方分権、地方創生、一億総活躍社会など様々な方針・交付金が準備されているようだが、自治体は政府方針に沿いながらも、それらに振り回されず冷静な判断をする必要がある。 ・冷静な判断のためにはデータの積み上げが必要だが、その点で本会議のデータは役立つのではないか。例えば市の決算カードなどを活用し財政の経年変化を見れば、これまでの富田林の10年間を一望できるのではないか。また、データを読み解く場などの提供も必要である。 ・第5次総合計画を上位計画として組織の方針・指針などの整合性を保つことで、政府方針に寄り沿いながらも市の独自性を担保できるのではないか。
座長	事務局からの提案、欠席委員からの意見を踏まえて、今年度の進め方について、何か意見はあるか。
委員	昨年実施した担当課との意見交換の取組みは、今年度も実施したい。
座長	<p>各委員のご意見も踏まえつつ、今年の会議の進め方は次の2つの柱で行う。1点目が、これまでのフォローアップ会議で積み上げてきた資料の検証を行うこと。2点目が、フォローアップ会議委員と担当課の職員との意見交換の機会を設けること。</p> <p>また、スケジュールとしては、本日第1回目で例年の資料の検証を行う。第2回目は担当課との意見交換を行い、第3回目はまとめを行うことを基本に、進行状況により適宜判断して進める。</p> <p>以上のような進め方でどうか。</p> <p>(各委員了承)</p>
事務局	<p>■フォローアップシート①（資料2）について説明</p> <p>基本計画第1章で提唱している3つの「市民参加のしくみづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ① “さまざまな立場の市民が行政活動に参加できるしくみづくり” ② “行政職員の市民意識の理解を促すしくみづくり” ③ “市民と行政の協働を推進するしくみづくり”

	<p>の年度別の取組み状況をまとめた表で、前回の平成25年度に作成・報告した内容に、平成26年度の取組みを追加している。</p> <p>(平成26年度の新たな取組みの例示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1節 分類番号6番『水道事業、寺内町地区についてのアンケートの実施』 ・第1節 分類番号15番『シティセールスのページを定住促進ポータルサイト「富田林生活 とんかつ」としてリニューアル』 ・第1節 分類番号16番『高齢者・障がい者などの移動困難者の移手段確保に関するセミナー』 ・第2節 分類番号19番『毎月1度の職員清掃の実施』 ・第2節 分類番号25番『フォローアップ会議委員と各課との意見交換会の実施』 ・第3節 分類番号34番『第1回富田林市民公益活動支援センターシンポジウム「今でしょ！ゆるくつながるまち想い」の開催』 <p>を説明。少しずつではあるが、市民参加の取組みは増えている。</p>
委員	<p>第3節 分類番号26番に関して、滝谷不動駅周辺の活動が年々縮小している気がする。過去には市民協働課の「富田林市元気なまちづくりモデル事業」の採択を受けて事業を行うなど活動していたはずだが、現在はどのような状況なのか。</p>
委員	<p>確かに昔と比べると、駅前周辺の賑わいがなくなってきているのは感じる。駅から不動尊まで歩いた人が「駅から遠く感じた」と言っていたが、賑わいのなさからくるものであろう。</p>
事務局	<p>「富田林市元気なまちづくりモデル事業」は複数の町会等の団体が実施するまちの活性化につながる事業を支援するものであり、24年度から26年度の期間は、彼方上地区での事業など計3事業を支援してきた。また、27年からは彼方上地区を始めとして計5つの事業を採択し、支援している。</p>
委員	<p>東板持地区については、高齢者運送サービスの開始など、地区内のニーズに答える活動を実施しており、素晴らしいと思う。</p>
事務局	<p>市としては、そうした活動を支援するとともに、地域間で互いにどういった活動をしているのかを知ることができるよう、活動事例を発表する機会を設けるなど、情報発信もおこなっている。</p>
座長	<p>毎年新たな取組みとしてアンダーラインを引いて示してあるが、一方で毎年同じ状態のまま、変化がない部分がある。資料作成時の設定に無理はなかったか。</p>
事務局	<p>記載されている情報は政策推進課が把握している情報であるため、どうしても見えてこない部分がある。</p> <p>しかしながら、全庁的には検討できていなくても、各担当課で検討しているものも</p>

	<p>あり、例えば第1節 分類番号3番のワークショップについては空欄が続いているが、現在担当課から金剛地区の再生に関してワークショップの活用を検討していると同っている。</p>
座長	<p>本資料を通じて、各担当課で何が必要であるのか、“気づきのきっかけ”となっていることを願う。</p>
事務局	<p>■フォローアップシート②（資料3）について説明</p> <p>“縦糸”である施策ごとの個別事業の実施状況と、各事業に関連する「3つのしくみづくり」の状況を〇×で表して取りまとめたシート。また、この資料は、施策の事務事業ごとの、予算と決算の額を載せている。</p> <p>また、「3つのしくみづくり」については、「〇×」を記載している。経年的にまとめているので、昨年までと比較して進んだものが分かる。</p>
座長	<p>各所属において、3つの市民参加のしくみづくりの評価（〇×）の取扱いはどうなっているのか。</p>
事務局	<p>電算システムにより「〇」か「×」を登録する形となっているが、評価の基準に関してマニュアル等で伝えてはいるものの、担当課の自己評価に任せている。</p>
座長	<p>評価が「〇」か「×」かの2択であるため、難しい部分はあるだろう。</p> <p>例えば、3段階評価にした方がいいのかもしれない。</p>
事務局	<p>昨年度、政策推進課が実施した全事業評価では5段階評価としていた。2択の場合、多いに実践できているから「〇」なのか、少しは実践できているから「〇」なのかはわかりにくい部分もある。</p>
座長	<p>ここで大事な点は、評価が「〇」か「×」かという点ではなく、あくまで各所属において“気づきのきっかけ”になっているかどうか、という点である。</p>
事務局	<p>■各種数値データ一覧表（資料4）について説明</p> <p>施策別に、関連する個別分類項目について、人数や回数、パーセンテージなどの指数を用いて、その推移を統計として整理。</p> <p>⇒数値の増減によって一概に良し悪しを判断できるものではないが、数値の把握・確認は、総合計画の進捗管理においては大切な視点であり、毎年、データの積み上げを継続している。</p>
座長	<p>様々な市のデータが記載されており、大変素晴らしい資料であると思うが、各所属からどのようにしてデータを集めているのか。</p>

事務局	各所属へ照会し、最新の数値を入力してもらっている。また、新たに追加すべき情報については随時追加していく形をとっている。
座長	新たに追加すべき情報の把握はどのようにしているのか。
事務局	担当課からの自己申告を基本としているが、各所属へ周知する際に、追加すべき情報がある場合は相談してほしいと依頼している。
委員	パスポート発行事務の状況について教えてほしい。
事務局	パスポート発行事務は大阪府からの権限移譲事務として25年1月より開始したため、24年度は3か月分の数値であり、12か月分の数値である25・26年度と比べると少なくなっている。事務そのものについては、日曜日に受取可能である点など、市民から好評であるとは聞いている。
委員	会社員が申請と受取のために平日2回休むことは困難である。日曜日の取扱いは素晴らしいと思う。
事務局	<p>■平成26年度 市民アンケート（重要度・満足度）（資料5）及び市民アンケート調査結果ランキング（資料6）について説明</p> <p>平成19年度から設問項目を固定して実施している市民アンケート（満足度・重要度）について、平成26年度の調査結果、これまでの市民アンケートをランキング形式でまとめたものをそれぞれ資料として整理している。</p> <p>満足度についてはここ数年あまり変化が見られないが、重要度についてはこれまで「防犯・防災・消防等危機的管理の安心度」が1位であったものが、26年度では「保健医療などの充実度」が1位となった。</p> <p>高齢化の進行により、市民の健康に対する不安が結果として現れたのではないかと考える。</p>
委員	市民アンケートは、20歳以上の男女から無作為抽出して実施しているとあるが、対象年代毎の傾向をつかむことで、より良い分析もできるのではないか。
事務局	アンケートの基礎項目として、男女の別や年齢を確認しているので、資料のデータは回答者全員の数値であるが、クロス集計は可能である。
事務局	<p>■平成26年度事務事業評価集計表（資料7）について説明</p> <p>行政評価シートの中で設定している成果指標について、その予定と実績から進捗状況を確認する資料。</p>
事務局	<p>■平成26年度 事務事業の施策別分類（資料8）について説明</p> <p>全体の事務事業と、そのうちの行政評価対象事業、行政評価実施事業等の情報につ</p>

	<p>いて整理した資料。</p> <p>【平成26年度】</p> <p>評価対象外を含めた全事業⇒927 事業</p> <p>評価対象事業⇒627 事業</p> <p>評価シート作成事業⇒299 事業</p> <p>昨年と比較して、新たに追加された事業と終了した事業を差引して4事業増えている。</p>
委員	<p>資料を見ていく中で、今まで知らなかった事業も見受けられ、これだけの事業を限られた人員で行っているということに驚きを隠せない。職員は頑張っていると思う。</p>
委員	<p>そうした限られた人員をどのように活かしていくかが市政運営にとって非常に重要であり、富田林の未来をも左右することになるので、人員配置はよく考えるべきだ。</p>
事務局	<p>■事務事業評価表（当日配布）について説明</p> <p>より総合的な視点で評価を行うという観点から、一昨年から19事業を対象を拡充した事務事業評価表を用いて点検する。</p> <p>（個票を配布）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1節第1項「平和のつどい」 ・第1節第2項「人権文化センター事業（講座事業）」 ・第1節第3項「男女共同参画社会の形成」 ・第2節第1項「広報誌発行事業」 ・第2節第2項「小学校耐震及び補強事業」 ・第3節第1項「保育所職員研修事業」 ・第3節第2項「生涯学習推進事業」 ・第4節第1項「救急救命士の育成事業」 ・第4節第2項「がん予防対策事業」 ・第4節第3項「地域生活支援事業」 ・第4節第4項「保健事業（特定健康診査）」 ・第5節第1項「公害対策事業」 ・第5節第2項「公園管理事業」 ・第6節第1項「防犯対策事業」 ・第6節第2項「道路維持補修事業」 ・第6節第3項「（仮称）若松地区公共施設再整備事業」 ・第7節第1項「下排水路管理事業」 ・第7節第2項「商業活性化総合支援事業」 ・第7節第3項「観光振興事業」 <p>事務事業評価表の見方についての説明。総合計画の施策体系、事務事業名、区分ごとの評価については以下の指標を使っている。</p> <p>評価ランク：事業全体について、改善策を取り入れているかどうか。A：改善策を</p>

	<p>取り入れた、B：従来通り、C：事業縮等で、目標設定を下げた場合。</p> <p>有効性：成果指標・活動指標について、ともに改善に向けた数値を設定しているかどうか。A：改善に向けた数値を設定している、B：従来通り、C：事業縮小などで、現状よりも低い目標を設定している。</p> <p>効率性：費用対効果について、改善策を取り入れているかどうか。A：改善策を取り入れている、B：従来通り、C：以前よりも費用対効果が低い方法を予定している。</p> <p>必要性：市民にとっての必要性が増しているかどうか。A：必要性が増している、B：従来通り、C：必要性はなくなってきている。</p> <p>公平性：対象となる市民の数を増やす、受益者負担を取り入れるなど、公平性を高めるような改善策を取り入れているかどうか。A：改善策を取り入れている、B：従来通り、C:対象となる市民の数を減らした、また受益者負担をなくした。</p> <p>対象については、実施主体と合わせて3つの市民参加のしくみのどれに該当するかを記入するよう統一している。</p> <p>成果指標については、予定と実績を記入している（1つまで）。</p> <p>活動指標については、予定と実績を記入している（3つまで）。</p> <p>人件費については、当該事業に係る正職員の人件費を配賦・賦課することによって、年間の人件費を算出している。</p> <p>事務事業評価表は、行政内部の書類であって、市民目線でわかりやすい表現にはなっていない部分はある。しかしながら、縦系の部分については、例えば、第1節第1項「平和のつどい」では、台風の影響もあり目標は達成できなかったものの、アンケート調査の結果を踏まえて事業全般を見直すなど、昨年に引き続き事務改善が見られた。また、第4節第3項「地域生活支援事業」では、24年度までは目標を達成できていたが、25年4月の法改正により、指標の対象者が変更になったことから、市障がい福祉計画と併せて27年度以降の目標数値を見直している。さらに、第7節第2項「商業活性化総合支援事業」では、昨年度の意見交換会の結果を踏まえて記載方法の見直しを実施している。</p> <p>以上の事例を含め、点検した事業を見る限り、基本計画の縦系部分は着実に進展しているものとする。</p> <p>～休憩～</p> <p>座長 第2節第2項「小学校耐震及び補強事業」において、財源内訳に地方債があるが、地方債の発行に関してルールなどはあるのか。</p> <p>事務局 地方自治法第230条や地方財政法第5条など、一定のルールが設けられており、対象となる事業は限られている。また、地方債の発行にあたっては、事業の目的・方法等明確にしなければならない。</p>
--	--

座長	第6節第1項「防犯対策事業」について、成果指標の予定と実績で大きな開きがあるが、どうか。
事務局	資料4の6ページに各年度の犯罪発生件数がある。 指標設定当時の20年度は2752件の犯罪が発生しており、ここから徐々に減らす予定で指標が設定されている。しかし、実際には予定していた以上に犯罪発生件数が減少したため、予定と実績の間で乖離が見られる。
委員	同じく資料4の6ページに補助対象防犯灯数が記載されているが、防犯灯の数が増えたことが、犯罪発生件数の減少に貢献しているとも考えられる。
座長	予定と実績で開きがある理由はわかったが、見直しの段階で、予定の数値を変更することはできないか。
事務局	実績に即して予定を変更すると、当初指標を設定した際の目的がぼやけてしまう恐れがある。実際、防犯対策事業については、担当課として指標は安易に変更すべきでないと判断し、変更していないと思われる。ただし、予定値の変更という点では、先に説明した地域生活支援事業のように、法改正に伴う変更事例もある。
座長	指標の変更があった場合は、担当課から説明があるのか。
事務局	変更した場合は、指標の説明欄に記載をお願いしている。
座長	繰り返しになるが、大事なことは、各課において何かしらの“気づき”があることである。目標は達成することが全てではなく、目標達成に向けて何が必要なのか見直していくこと、改善していく姿勢が大事である。
座長	これまで開催してきたフォローアップ会議の中で、フォローアップシートを含めてさまざまな資料ができたが、これら資料は実際に市の業務において活用されているのか。 本会議で役に立ったとしても、市の仕事に活用されなければ意味がない。フィードバックはされているか。
事務局	毎年フォローアップ会議報告書と合わせて資料一式を全所属に周知しているが、各課でどう捉えているかまではわからないが、各種数値データ一覧表（資料4）に関しては、問い合わせもある。

～担当課との意見交換会について～	
座長	<p>意見交換会開催に向けて、具体的にどの課と意見交換するのかを決める必要がある。</p> <p>実施方法は昨年と同様、1課につき30分、出席職員は可能な限り担当課係長、質問事項は①3つの市民参加のしくみづくりの取組み状況について②各課の事務事業評価について、の2点とし、対象は昨年聞くことができなかった基本計画第2章第1節・2節・4節・6節から1課ずつ選定してよいか。</p> <p>(各委員了承)</p>
座長	<p>担当課選定にあたって、事務局から提案をお願いする。</p>
事務局	<p>選定にあたっては、施策体系別に分類してある資料8が参考になると思われる。この中から基本計画各節の趣旨に照らして代表的な課を選定してはどうか。</p>
座長	<p>まず第2章第1節からだが、何かご意見はあるか。</p>
委員	<p>第1節のテーマは「平和」や「人権の尊重」であることから、人権政策課や人権文化センターが望ましいのではないかな。</p>
座長	<p>内容としては市民協働課でもいいが、市民協働課とは昨年実施しているので、人権政策課で良いと考えるが、どうか。</p> <p>(各委員了承)</p>
座長	<p>次に第2章第2節について、「情報公開の推進」や「行財政改革」に関する節であるため、情報公開課や行政管理課が対象と考えられるが、どうか。</p>
委員	<p>行政管理課では、市民参加という観点からは少し逸れるのではないかな。</p>
座長	<p>では2つ目は情報公開課でよいか。</p> <p>(各委員了承)</p>
座長	<p>次に第2章第4節について、対象範囲も広い印象だが、医療・健康や福祉関係が対象となっている中で、直接様々な方と関わるという点で言えば福祉関係、高齢介護課や障がい福祉課のどちらかにすべきと考えるが、どうか。</p>
委員	<p>障がい福祉課の場合、対象者が限られるのではないかな。</p>

委員	同意見である。対象者が広い高齢介護課の方がよいと思う。
座長	<p>では3つ目は高齢介護課でよいか。</p> <p>(各委員了承)</p>
座長	<p>最後に第2章第6節について、防災の点からは危機管理室や消防総務課が、交通・まちづくりの点からは道路交通課やまちづくり推進課が考えられるが、その中で道路交通課は、バリアフリーに関する事務や放置自転車防止対策事務など市民に関わりのある事務を所管している。前回の下水道課における市民との関わり方と、道路交通課における関わり方とでどう違うのか比較もしてみたい。そういった点から、最後は道路交通課にしたいと思うが、どうか。</p> <p>(各委員了承)</p>
座長	<p>以上をまとめると、次回は第2章第1節から人権政策課、2節から情報公開課、4節から高齢介護課、6節から道路交通課を選定し、意見交換を行うこととする。4課との調整は事務局をお願いしたい。</p> <p>また意見交換にあたり、追加で意見があれば、事務局まで連絡していただきたい。</p>
事務局	<p>4課の予定を確認し、順番や参加職員の調整をする。</p> <p>また、事務事業評価表や議事録等の準備ができ次第、郵送する。</p> <p>次回の日程等の確認をして終了。</p> <p>(第2回は、2月12日(金)13:30~5階 政策推進課会議室で行う。)</p>